

瞬間吸引金型で劇的に変わる成形加工

* 瞬間吸引金型導入による効果

- 1, 無停止成形によって品質不良が激減します。
- 2, パージや捨てショットで廃棄される材料損失が激減します。
- 3, 炭化物の黒点は激減します。（生産時間が長いほど効果が増します）
- 4, 成形工場の各部署の人手不足が解消できます。

* 金型製作費が安く出来ます。工期も短縮できます。

- 1, 金型部品の分割を極力減らし一体化に近づけ加工工数を削減します。更に累積の調整や組立てを簡単にすることで工数削減を実現できます。
- 2, 金型をコンパクトに製作します。（低圧成形が出来るので1~2ランク小さな成形機に取り付けられるようにする）
- 3, 試作時の成形条件を毎回同じに出来るので、1回目の型検後の修正が正しく出来れば2回目の型検で合格させることが出来ます。反り・変形シボなど外観が満足出来たところで1回目の型検を行うことです。無駄な作業が減らせます。

* 実現できる根拠

- ・ 外部から侵入する空気をはるかに上回る吸引力があれば、真空引き金型のようにシールの必要はありません。量産に入っても毎回同一成形条件で加工できるので品質は格段に安定します。現在生産中の金型でも簡単に改造が出来ます。一般的に行われている真空引きとの違いは、吸引口が多層になっているので開口面積が広いことです。ガスも空気も外部に吸い出すことで金型の汚れも抑えられます。日本の人口も毎年100万人減ることは決まっています。今後ますます採用が困難になり対策が求められます。瞬間吸引金型は人手不足の問題解決に寄与します。